シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) デジタルものづくり入門 (英文名) Introduction to Digital Fabrication				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)宮下 晃一 (ローマ字) MIYASHITA Koichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)ものづくり, (2)デジタル, (3)3Dプリンタ, (4)3D-CAD, (5)設計 (1)Fabrication, (2)Digital, (3)3D-Printer, (4)3D-CAD, (5)Design				
21. 授業概要	3Dプリンタを使うと、誰でもが簡単にものづくりできる。3Dプリンタだけでなく、現在では様々な工作機械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき、ダウンロードでき、コピーでき、自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でもが自分の発想するものを3Dプリンタで作ることができ、必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。このようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに、3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	3Dプリンタやレーザーカッターなど、デジタル技術を使ったものづくりの手法について概要を学び、3D-CADを用いた簡単な設計法を体験するとともに、情報化の進展に伴う今後のものづくりの可能性を展望する。				☑

23. 授業の到達目標 ／学修課題	3Dプリンタやレーザーカッターを使ったものづくりの方法を理解する。 3D-CADを使って、各自が製作したい物の設計データを制作する。	☐				
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 授業の進め方。デジタルものづくりの概要。 第2回 3D-CAD演習・1 第3回 3D-CAD演習・2 第4回 3D-CAD演習・3 第5回 3D-CAD演習・4 第6回 3D-CAD演習・5 第7回 3D-CAD演習・6 第8回 課題製作	☒				
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	各自で3D-CADを使った演習を行って提出する課題がある。CADソフト(Fusion)を演習で使うので、各自のPCにインストールすること。	☒				
28. 成績評価の方法 と基準	授業毎に課される課題の提出状況と内容により評価する。 注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期限内に提出すること。 注2: 課題にはすべて解答すること。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外となる。	☒				
29. 再試験の有無	<table border="1" data-bbox="357 1429 1425 1525"> <tr> <td data-bbox="357 1429 587 1480">自大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1429 1425 1480">再試験は行わない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1480 587 1525">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1480 1425 1525">再試験は行わない。</td> </tr> </table>	自大学学生向け	再試験は行わない。	連携大学学生向け	再試験は行わない。	☐
自大学学生向け	再試験は行わない。					
連携大学学生向け	再試験は行わない。					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学100名・徳島大学100名・鳴門教育大学100名・高知大学100名・愛媛大学100名	☒				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。	☒				

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">MAKERS 21世紀の産業革命が始まる</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>4140815760</td> <td>著者名</td> <td>クリス・アンダーソン</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>NHK出版</td> <td>出版年</td> <td>2012年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,090円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3">基礎からのFreeCAD</td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td>4777519317</td> <td>著者名</td> <td>坪田 遼</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>工学社</td> <td>出版年</td> <td>2016年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,640円</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名	MAKERS 21世紀の産業革命が始まる			I S B N	4140815760	著者名	クリス・アンダーソン	出版社	NHK出版	出版年	2012年	金額	2,090円	備考		参考書2	書名	基礎からのFreeCAD			I S B N	4777519317	著者名	坪田 遼	出版社	工学社	出版年	2016年	金額	2,640円	備考		参考書3	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名	MAKERS 21世紀の産業革命が始まる																																																						
	I S B N	4140815760	著者名	クリス・アンダーソン																																																				
	出版社	NHK出版	出版年	2012年																																																				
	金額	2,090円	備考																																																					
参考書2	書名	基礎からのFreeCAD																																																						
	I S B N	4777519317	著者名	坪田 遼																																																				
	出版社	工学社	出版年	2016年																																																				
	金額	2,640円	備考																																																					
参考書3	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
34. Web テキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				□																																																			
35. パソコン必要度	必要。CADソフト(Fusion)を演習で使うので、各自のPCにインストールすること。 ※Fusionの動作環境については、webで「Autodesk Fusion の動作環境」を検索してください。 大学によっては学生用PCで使える場合がある。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	□																																																				
37. 教員相互参観授業公開日程					□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール (miyasita@naruto-u.ac.jp) で問い合わせること。			□																																																			
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール (miyasita@naruto-u.ac.jp) で問い合わせること。			□																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp			□																																																			
	連携大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp			□																																																			
40. 教員の実務経験について	無し				□																																																			

41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こしたテキスト資料あり。	☒
42. その他／備考	無し	☐

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	後期(後期前半)	
3. 開講学部・学科等／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	教養基礎科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 英語文学・英語学探訪 (英文名) Topics of English Literature and English Linguistics				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 森山倭成(代表)、木口圭子(英語文学担当) (ローマ字) MORIYAMA Kazushige (representative), KIGUCHI Keiko (English Literature)				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	学部1・2・3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	学部1・2・3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため曜日・時限は関係なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学学生 向け	無し		連携大学学生 向け	無し
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5	イギリス詩, 詩形, 押韻, 文法化, 語彙化 English Poetry, Poetic Forms, Rhyme, Grammaticalization, Lexicalization				

つ以下)		
21. 授業概要	<p>(英語文学) 英米詩の形式ごとに取り扱う作品を選び、授業を進める(第4回を除く)。小説とは異なる文学形式で書かれた作品を鑑賞する意義を学ぶ。</p> <p>(英語学) 自然言語の共通性や変化についてのトピックを通して、英語学研究の一端を紹介する。英語と日本語の比較も行う。</p>	☒
22. 授業の目的及び主旨／授業の科目の主題	<p>(英語文学) 英語詩の形式について初歩的な知識を身につける。同時に、詩のテクニックに触れることで、英語という言葉の楽しさを味わってもらいたい。</p> <p>(英語学) 自然言語の共通性や変化に関する初歩的な知識を学ぶ。</p>	☒
23. 授業の到達目標／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ・詩脚や脚韻など、韻律についての基本的知識を学ぶ。 ・代表的な文学作品を鑑賞し、将来英語教育に携わるための教養の素地を育む。 ・自然言語の共通性や変化についての基礎的知識を身につける。 	☒
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>1回目:バラッド</p> <p>2回目:ソネット</p> <p>3回目:ヴィラネル</p> <p>4回目:20世紀の詩</p> <p>5回目:ことばの変化</p> <p>6回目:ことばの変化</p> <p>7回目:語彙化</p> <p>8回目:文法化</p>	☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>(英語文学) 毎回、課題を出すので、解答して〆切までに提出すること。質問があれば、メール等で積極的にコンタクトを取ってほしい。</p> <p>(英語学) 毎回、課題を出すので、解答して〆切までに提出してください。</p>	☒
28. 成績評価の方法と基準	課題提出と、その結果によって評価する。	☒
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験なし
	連携大学学生向け	再試験なし

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名			☒																																																			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・課題提出の〆切は厳守してください。 ・この講座を通し、皆さんの英語への興味がさらに深まれば幸いです。			☒																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	無し <table border="1" data-bbox="231 768 1273 965"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="231 1010 1273 1597"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/			☐																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☐																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				☐																																																			

38. オフィスアワー	自大学 学生向け	先ず、メールで連絡をとってください。	☒
	連携大学学生 向け	先ず、メールで連絡をとってください。	☒
39. 連絡先／ 学生相談場所 ／学生開示用メール	自大学 学生向け	kmoriyama@naruto-u.ac.jp(森山)、kkiguchi@naruto-u.ac.jp(木口)	☐
	連携大学学生 向け	kmoriyama@naruto-u.ac.jp(森山)、kkiguchi@naruto-u.ac.jp(木口)	☐
40. 教員の実務経験について	無し		☐
41. パリアフリー対応	教材は文字ベースのスライドで一部音声キャプションあり。		☐
42. その他／備考	無し		☐

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分 ／区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)高齢者福祉と地域 (英文名)Elderly welfare and community				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)畠山輝雄 (ローマ字)HATAKEYAMA Teruo				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-learningのため曜 日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)高齢者福祉, (2)高齢化, (3)高齢人口分布, (4)介護保険制度, (5)地域包括ケアシステム (1)Elderly welfare, (2)Population ageing (3)Distribution of Elderly, (4)Long-term care insurance system, (5)Community-based integrated care system				
21. 授業概要	超高齢化社会を迎えた日本における高齢者福祉について、高齢化の状況(高齢人口分布)やその地域差、制度的解説(介護保険制度、地域包括ケアシステムなど)を踏まえ、受け皿となる地域での対応を考える。高齢者福祉に関する授業ではあるが、学問的背景は地理学であるため、地図をはじめとした図表類の分析・考察により、高齢者福祉に関わる課題を検討し、将来展望を学生にはしてもらいたい。				☒
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	日本における高齢化の進展とその背景、高齢化の地域差、それらを踏まえた高齢者福祉制度の変遷について説明する。これらに伴う地域での対応についても考察することで、今後の日本の超高齢化社会における高齢者福祉と地域との関係を考える。				☒
23. 授業の到達目標 ／学修課題	・日本の高齢化の背景と高齢化の地域差について理解する。 ・高齢者福祉に関わる制度的な概要を理解する。				☒

	・高齢者福祉制度の変化に伴う地域への影響について理解する。				
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)					
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 高齢者福祉とは?～なぜ高齢者のための福祉が必要か～ 第2回 日本における高齢化の進展とその要因 第3回 日本における高齢化の地域差とその要因 第4回 高齢者福祉制度の成立と発展～介護保険制度以前～ 第5回 介護保険制度創設とその影響 第6回 介護保険サービスの特徴と立地の地域差 第7回 地域包括ケアシステムの構築と制度的概要 第8回 超高齢化社会と今後の高齢者福祉の展望		☒		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	とくになし		☒		
28. 成績評価の方法と基準	第1回～第7回の授業の感想(8点×7回=56点)と第8回を踏まえた最終課題(44点)により評価する。 注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。ただし、やむを得ない状況(忌引や感染症などによる体調不良等)で期日までに提出できない場合には、事前にメールにて担当教員まで連絡のこと。		☒		
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	☒		
	連携大学学生向け	再試験は行わない。			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学100名・徳島大学100名・鳴門教育大学100名・高知大学100名・愛媛大学100名		☒		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	・授業ごとに課される課題は、受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。 ・動画の視聴による授業であるため、理解できなければ何回でも視聴すること。		☒		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1			☐	
	書名				
	ISBN		著者名		
	出版社		出版年		
金額		備考			

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	高齢者福祉(第3版)			☑	
		ISBN	978-4-623-08248-3	著者名	大塩まゆみ・奥西栄介編著		
		出版社	ミネルヴァ書房	出版年	2020年		
		金額	2,860円(税込)	備考			
	参考書2	書名	高齢者福祉論 介護保険制度の理念・意義・課題				
		ISBN	978-4-492-70155-3	著者名	香取照幸		
		出版社	東洋経済新報社	出版年	2022年		
		金額	4,950円(税込)	備考			
	参考書3	書名					
		ISBN		著者名			
		出版社		出版年			
		金額		備考			
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/					☐	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等 /資格取得該当科目		なし	☑		
37. 教員相互参観授業公開日程						☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(thatakeyama@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。				☑	
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(thatakeyama@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。				☑	
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	E-mail: thatakeyama@naruto-u.ac.jp				☑	
	連携大学 学生向け	E-mail: thatakeyama@naruto-u.ac.jp				☑	
40. 教員の実務経験について	該当せず					☑	
41. バリアフリー対応	動画の音声を文字起こしたテキスト資料(PDF)あり					☑	
42. その他/備考	なし					☑	